



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員
は会費に含まれる

発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師
上ル七観音町637 第41長栄
カーニープレイス四條烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

主な内容

- 理事者退任および就任あいさつ (2面)
- 危険な民間保険に対し撤回要請 (3面)
- 共通番号制が成立 (6面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
- ◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
- ◆針刺し事故等補償プラン
- ◆自動車保険・火災保険

☎075-212-0303

夏特集号への 会員の投稿募集

会員からの随筆等1000字程度での投稿を募集しています。どんなテーマでも結構です。多くの先生方の投稿をお待ちしております。

締切は7月8日(月)。

世界 の 寸評

改憲の動きが強まっている。この憲法は世界で高く評価されており、99年オランダのハーグで開かれた「世界市民平和会議」で「各国議会は、日本の憲法第9条のように戦争放棄決議を採択すること」と決めている。翌年の国連ミレニアム・フォーラムの「平和・安全保障・軍縮グループ」の報告書でも同じ趣旨が強調されている。世界の平和を希求する人々は、日本国憲法を21世紀の世界の憲法に願っている。まさに世界遺産」そのものなのである

どうなるの？ 京都のリハビリ

リハセンのあるべき姿を市民の側から



参加者でいっぱいになった会場

関係者や市民が集い フォーラム開催

「どうなるの？ 京都のリハビリテーション」と題したフォーラムが5月11日、京都新聞文化ホールで開催された。フォーラムは京都市身体障害者リハビリテーションセンター(以下、市リハセンと表記)の機能縮小から、附属病院や補装具製作施設の廃止を検討している状況を受け、協会が呼びかけて結成した実行委員会が主催。105人の市民・当事者・リハ関係者が参加した。フォーラムは、市リハセンの理学療法士である今井陽一氏が司会を務めた。

機能縮小はあくまで財政事情

開会にあたり、実行委員会(分會)があいさつ。続いた。代表として浅田和之氏(理学療法士・京都市職員)と瀧澤透氏(京都府言語聴覚士会会長)が基調報告を

行った。渡邊理事は、実行委員会結成に至った経過と京都市の議論状況を説明。その上で、京都市はあくまで財政事情から市リハセン機能の縮小を



発言する垣田副理事長(当時・左)、坂本理事(中央)、渡邊理事(当時・右)

各分野からリハセンの存在意義訴え

後半は、リハビリテーション関係者が次々に発言した。医師からは、坂本誠理事と富田泰子氏(医師・京都地域リハビリテーション研究会)、市リハセン職員の浅田和之氏(理学療法士)、谷口太郎氏(京都府作業療法士会副会長)、三田村啓子氏(京都府言語聴

理事長就任にあたって

京都府保険医協会は、敗戦後の混乱が続く1949年(昭和24年)6月に結成され今年で64年目を迎える。(国民と連携)「医療保障制度の確立と制度運用の合理化の追求」「保険医の知識と技能の向上と生活権の擁護」遂行が設立の二大目的である。



理事長 垣田さち子

日本の医療制度は、少ない費用で(対GDP比OECD加盟国中16位)、世界の平均寿命を達成してい

日本の医師達は医療の平等性を強く主張し、議論を重ね足並みを揃えて地道に診療活動を行い、国民のため

難さは医師の精神に余裕を与え、誠意に基づく診療現場を実現させている。医療者と患者さんの間に生まれる安心感こそが私たちが誇れる宝であり、世界が一目

置く優れた成果につながっているのだと思う。しかし、この国民皆保険制度も、時々の政府が打ち出す低医療費政策により弱体化、縮小化が図られ、常に医療の充実を求める国民との間断ない闘いの歴史を歩んできている。

私も微力ながら、先輩達の積み上げてこられた成果を壊すことなく後輩達につなげ、日本の医療を守り発展させる仕事を尽くします。会員の先生方のご支援・ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、「参加者アピール」を満場一致で確認し、フォーラムを終えた。なお、当日は会場にて運営カンパを訴え、6万2232円もの協力を得た。

世界に冠たる皆保険制度 守り発展させる運動の継続を

に人生設計を考える時代になった。世界もつらやむ長生きの国の実現に大きく貢献したの、全国一律の国民皆保険制度の達成である。広げ、国民医療の充実発展

でも、医師会と保険医協会の二つの組織を持ち、医療側のみならず患者の立場に立った多面的な活動をくり

全てが医療保険制度に加入し、等しく給付が保障されている国民皆保険制度のお陰である。診療した結果の報酬が約束されている有り

特に近年は、市場原理主義に基づく医療の産業化路線が声高に語られ、TPP参加の問題も目前に迫り、ついに憲法改定まで議論に上るといふ、国のあり方そのものまで問われなければならない、今までにない厳しい

局面を迎えようとしている。社会保障の一翼として、国民の幸福に寄与する大事な医療保障の実現のために連綿と闘いが続けられてきた協会の歴史を振り返ると、運動を担ってこられた諸先輩の知性と情熱に改めて頭が下がる。

発言を受けてまともに立った協会・垣田副理事長は国もリハビリテーションの強化を強調し、予算措置もされるような時代に、なぜ京都市は大切な財産をなくそうとするのか。今日を出発点に市民的な議論をすすめていこうと訴えた。

「中国や韓国北朝鮮と緊張が高まっているのは事実だが、非核平和主義の原則は守って、少なくともアジアの平和の盟主を目指したいものだ。(彦)

売り出し狙う危険な民間保険 金融庁に強く撤回求める

金融庁が保険商品の現物給付の事実上の解禁に向け動き出している。それは

「直接支払い」という保険金のサービス提供事業者への支払い変更という方法である。保険会社の提携する事業者(医療機関や介護施設)で受けるサービスについて、保険外負担分や定率負担分を保険会社が事業者に支払うことで、利用者の窓口での負担を不要とするもの。こうした「保険商品」の現物給付は米国で実際に行われている。「マネジドケア」とよばれる米国の医療は、医師と患者の間で決定すべき医療行為に保険会社がその治療や薬の内容にまで具体的に立ち入って管理し、制限することで医療費の抑制を図るもので、批判が多い。

また、民間保険の市場拡大のために公的保険が切り

TPP政府発表の三つの欺瞞

国民への正しい情報ないまま7月正式参加は問題

安倍首相の公式表明(3月15日)を受け、政府はTPP交渉参加への準備を進めている。報道では米国は年内妥結を目指し、日本政府も7月のマレーシア会合(7月15日~25日)には最後の2日間のみ参加する見通し。協会は、他団体と構成するTPP参加反対京都ネットワークを通じて、日本が参加してもこれまでの合意を覆すことは不可能。米国の思惑を丸呑みすることになると指摘。政府の論法は国民を欺くものと主張している。

実際に政府は「ごまかしを重ね、国民に本当のことを伝えていない。如実にあらわれたのが、一部メディアも報じた事前協議「合意」の一件である。4月12日、日米両政府がそれぞれ発表した事前協議の「合意」をめぐり、三つのごまかしが指摘できる。

日米関係を「対等」と見せかける
アメリカ側(USTRII)は「アメリカ通商代表部」のリリース文書は、アメリカの「要求」へ日本がどのくら

食べて治す食物アレルギー 経口免疫療法への期待

小児科診療内容向上会が4月6日、京都小児科医学会、京都府保険医協会と日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社との共催で開催された。京都小児科医学会理事の若園吉裕氏が「保険点数の留意事項と最近の審査事情」について解説。神奈川県立こども医療センターアレルギー科の栗原和幸氏より「食物アレルギーの新しい概念と対応法―経口免疫寛容と経皮感作」について講演があった。

小児科向上会レポート

小児の食物アレルギー 園・保育園・学校等での個別対応が進む中、昨年の学給食による食物アレルギーで児童が亡くなった悲報は関係者に衝撃を与え、

子ども達を守る現場での対策の見直しや徹底が図られている。

従来の食物アレルギー治療は、診断に基づく適切な食品除去と栄養指導を基本に、予防や対症療法としての薬物療法により行われて



講師を務める栗原氏

きたが、演者である栗原先生は根治療法である免疫療法(減感作療法)に積極的に取り組まれ、経口免疫寛容の理論に基づいた急速特異的経口耐性誘導(rush specific oral tolerance induction; rush SOTI)を実施して成果を上げ、注目を集めておられる。言わば、攻めの治療となる新たなストラテジーを提唱されており、「食べて治す食物アレルギー」という考え方のインパクトは大きい。

今回の講演では、(1) rush SOTIの成果と課題、(2) 経口免疫療法の根拠となる知見、(3) 食物アレルギー治療の展望、について分かり易く話

いた。 (1) については、2007年の第1例以来、適応基準とプロトコルを発展させ、現在は卵、牛乳、小麦、ピーナツの4食品について実施されている。これまで99例のうち97例で急速期の治療に成功し、約30%で副反応を示したが軽症例が多く、アドレナリン注射を要したの2回であった。治療後、最長5年の経過観察においても課題があり、定期的摂取を維持する必要性や、体調不良時や激しい運動後、抜歯後の摂取による症状悪化例の他、1例だが好酸球性食道胃腸炎の発症例も経験されている。完全除去に戻ったのは3例のこと。(2) については、免疫療法は経口免疫寛容の歴史や、経口免疫寛容の根拠となったWells & Osborne (1991)の動物実験や、食品の早期摂取がアレルギー予防に繋がる可能性を示唆した関根ら(2002)やDu Toitら(2008)の論文を紹介された。そして、食物アレルギーの成立機序として注目されるLack(2008)の「二重アレルギー曝露仮説」が、それを証明する形となった加水分解小麦含有石鹼による小麦アレルギー発症事件、更には食物アレルギー経皮感作の原因となるフィラギン遺伝子異常による皮膚バリア機能の障害についても解説された。

(3) については、不必要な除去食が経口免疫寛容の機能する機会を奪って食物アレルギーを助長するリスクを指摘し、「幼少期から

みんなでストップ!
日本を「壊国」に追い込むTPP

TPP参加反対

京都府民 6月30日(日)
集会2013 大谷ホール

第28回 保団連医療研究集会演題募集

主務 神奈川県保険医協会
主催 全国保険医団体連合会
日時 10月12日(土)~13日(日)
場所 横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ

分科会・ポスターセッション 演題募集

①在宅医療・介護、②内科診療の研究と工夫、③歯科診療の研究と工夫、④医科歯科連携による研究と日常診療の工夫、⑤公害・環境・職業病、⑥医学史・医療運動史・医療と裁判、⑦ポスターセッション
※応募締切 6月28日(金) (最終締切)

応募方法・応募条件等の詳細は協会までお問い合わせ下さい。

アメリカ側文書にその文言はなく、ごまかしである。

西国が各々リリースした文書とはいえ、その見解がまるで違つてよいのか。TPPは国民生活全体に大きな影響を与える。政府が何かしらの判断で交渉に関する公式発表を、省略し書き換えることが許されるはずがない。この経過は、TPPを「ごまかさねば国民を説得できない代物と露呈した。日本が「聖域」を守ることはもはや不可能と指摘する識者も増えている。

一方、安倍首相は参議院選挙も視野に国民皆保険制度を「しっかりと守っていく」と強調する。しかし、TPPは国内法も含めてあらゆる貿易障壁を取り除く。早くから協会が指摘してきたとおり、交渉参加で避けられない薬剤・医療機器高騰が医療本体を瘦せさせ、必要な医療を保障できない事態を生むことは間違ない。

http://uchidashoko.blogspot.jp/

なお、交渉の問題点を内田聖子氏(アジア太平洋資料センター(PARC)事務局)のブログが日々報道している。ぜひご参照されたい。

ご加入下さい!! 医師賠償責任保険 個人情報漏えい保険 居宅介護事業者等賠償責任保険

加入者カードをお届けしました

新規ならびに自動継続でご加入いただいたみなさま、2013年度(13年4月1日〜14年4月1日)の加入者カードを5月下旬にお届けしました。記載内容等に不備がある場合は、京都府保険医協会までご連絡下さい。

加入内容について、4月1日以降の変更は反映されていない場合がありますのでご了承下さい。すでにお申し出いただいた変更・訂正分は、あらためて加入者証を送付しますので、いましばらくお待ち下さい。

いつでも加入、型変更ができます
医師・医療機関にとって賠償責任への備えは必須です。保険医協会の保険は会員のみさまからのニーズにお応えして、多様な補償をご用意しています。

型変更ができます
医師・医療機関にとって賠償責任への備えは必須です。保険医協会の保険は会員のみさまからのニーズにお応えして、多様な補償をご用意しています。

お問い合わせは京都府保険医協会(☎075・212・8877)まで。
金融共済委員会(5/22)の状況

各地区から選出の委員により、共済制度の健全・安定運営を行っています。
①休補運営分科会
給付6件、加入5件を審査し全件可決しました。
②融資諮問分科会
融資斡旋3件を決定しました。

今回の委員会で2年間の委員の任期が終了しました。各地区の委員の先生には大変お世話になりました。6月より新たな委員の先生方で引き続き共済制度の運営を行ってまいります。

記者の視点

27

弱い者に暴力を振るった人間が「あれはいじめではない」「いじめの定義は様々だ」「ほかの奴もいじめていたから」「いじめられた側にも原因がある」などと主張して、通用するだろうか。やられた側は「反省してないじゃないか」「またいじめられるのではないかと」と反発や不安を感じるだろう。歴史認識に関連する政治家の「妄言」が後を絶たない。過去への反省をいやがる態度、民族差別の意識を見え隠れさせる言葉は、相手を傷つけ、日本の品位を下げるだけ。その行動に経済制裁を加えた

読売新聞大阪本社編集委員 原 昌平

米英などを相手に戦争を始め、結果、焦土の敗北に至った。日本の行動が本当にアジア解放のためだったなら、仮に負けても、今なおアジアから反発が出るはずがない。そうではなく、近隣の諸民族を蔑視する風潮と相まって、軍部の横暴・独走がエスカレートし、道を間違えたのである。第2次大戦で言えば、アメリカの空襲や原爆投下による無差別大量殺害、旧ソ連によるシベリア抑留は重大な戦争犯罪である。東京裁判の大きな欠陥は、戦勝国の犯した罪を問わなかった点にある。歴史をめぐる議論は、そうでも、過去を反省し、他国々々や民族に敬意を払う。それが世界から信頼と尊敬を得る国になる道だ。

歴史を反省する意味

保険診療



配置医師の在宅療養指導管理料等について
Q、特別養護老人ホームを行っても、該当する在宅配置医師をしていません。療養指導管理料を算定できないことになっています。算定できないよう、ご注意下さい。ご指導管理に伴う、
A、在宅療養指導管理料は、在宅療養指導管理料加算、特定保険医療材料は算定できません。算定漏れのないよう、ご注意下さい。

裁判事例に学ぶ 医事紛争の防止

宇田 憲司

本件は、保険診療と自由診療を併用する混合診療で、特定療養費(昭和59年改正以降平成18年改正前の健康保険法(旧法と略す)第86条平成18年改正以降は保険外併用療養費)による療養などの要件を満たさぬ場合は、保険診療相当部分についても保険給付を行えないとする厚生労働省の解釈(混合診療保険給付外の

健康保険でよりよい医療を国民に

であったインターロイキン2を用いた活性化自己リンパ球移入療法(LAK療法と略す。特定療養費の支給可能で、IF療法にも支払われ得る)を自由診療で併用して受けていた。しかし、同センターは当時、高度先進医療ができる特定承認保険医療機関の承認を受

ていたと主張した。東京地裁は、法解釈上、個別的にみれば法およびその委任を受けた告示等により法第63条第1項の「療養の給付」を受ける権利をXは有すると解されるにもかかわらず、自由診療行為が併用されることにより、いかなる法律上の根拠によ

追加ご希望の場合は協会へ連絡を!

月刊保団連
民間版「健康保険」の衝撃
1部150円(送料別)

知らないとお損! 知ってトクする!
医療・介護・税金の負担軽減策 2013年版
1部100円(送料別)

共通番号制が成立

社会保障費抑制、情報漏洩…拭えぬ懸念

共通番号制度関連法が5月24日、参院本会議で自民、公明、民主、日本維新の会、みんなの党などの賛成多数で可決、成立した。国民一人ひとりに12桁の番号を割り振り、社会保障や税を管理する。2015年10月をめどに個人番号を通知、16年1月以降に顔写真付きのICカードを希望者に交付する。

同法は民主党政権が12年2月に国会に提出、同年末の衆院解散で廃案となったが、自民、公明、民主3党による修正を経て3月に提出された。民主党政権の法案は消費税増税時の

「給付付き税額控除」をすすめるために必要としていたが、自民党政権の法案ではこうした低所得者対策の理念が立ち消え、行政運営の効率化と公正な給付と負担の確保、国民の利便性の向上が法の目的で強調されている。さらに法施行3年後の見直しで民間への利用拡大も視野にいれている。

もさらに高まる。法案には、個人情報保護のため行政機関などを監視する第三者機関の設置や情報漏洩に対する罰則を盛り込んでいるが、情報漏洩と

いう事態に対して、責任の所在が明確ではない。すでに番号制を導入している諸外国での番号盗用や不正使用など深刻な例が報告されており、こうした被害を防ぐ手立てがたつていないことは明らかである。このように懸念を抱えたままでの「見切り発車」を許すべきではないだろう。

また、制度の導入時には小泉構造改革の社会保障費削減方針の中で、負担と給付を連動させ負担の範囲内に給付を抑える構想として番号制の活用が出されておき、この制度もその延長線上にあるといえる。またデータベースの利活用で国による管理医療が進み、医療費の総額規制につながることも懸念され、このような活用がされないよう監視していかねばならない。

2700億円を見込むが、政府は費用対効果の試算から実施していない。官民が膨大なコストをかけての超大型公共事業となるが、喧伝されている利便性の向上などと見合ふものとなるのかも問われる。

そもそも問題は、制度導入の真の狙いが社会保障費削減にあることである。小泉構造改革の社会保障費削減方針の中で、負担と給付を連動させ負担の範囲内に給付を抑える構想として番号制の活用が出されておき、この制度もその延長線上にあるといえる。またデータベースの利活用で国による管理医療が進み、医療費の総額規制につながることも懸念され、このような活用がされないよう監視していかねばならない。

さらに、アメリカ兵による性暴力に苦しめられ続けている沖繩の人々や、戦時中、慰安婦として働かざるをえなかった女性たちを、さらに傷つけ貶めるものであり、その方々に対して謝罪し、かつ発言を撤回することも求める。

世界の紛争地域では性暴力が深刻な問題であり続け、日本においても、性犯罪の発生やDV、子どもへの性犯罪・児童ポルノが蔓延している。発生の防止、被害者救済など、暴力と性暴力の根絶は、医療に携わる我々にとっても常に心を痛める重要な今日的課題である。

政治や法曹に携わる者は、それを解決すべき問題として捉え、女性・弱者への暴力の根絶に力を尽くすべきである。

その点から、橋下氏に政治家としての資格はなく、日本維新の会・共同代表の職を辞すよう求めた。

IPPNW京都府支部は4月20日、協会会議室において、市民公開講演会・第33回定期総会を開催。38人が参加した。

総会では、三宅成恒代表世話人が、①2012年度活動報告・決算報告について、②13年度活動方針・予算案を一括提案し、承認された。12年度の活動については、特に、内部被曝問題

研とともに、チェルノブイリ原発事故を経験した欧州

の医師等の講演を開催し、チェルノブイリ事故後の状況を多くの市民に知らせ、今後起こり得る被害の可能性、そして、いかに市民の健康を守るかの活動に取り組んだことを報告した。また、創立30年を記念して作成した『30年のあゆみ』を配布した。

当日は総会に先立ち、市民公開講演会を開催。市民と科学者の内部被曝問題研究会副理事長の松井英介氏が『低線量』放射線被曝と健康』と題して、東電福島第一原発事故後の経過や、国際原子力会議と呼ばれる人々の動き、被災者その後について説明し、「脱ひばくを実現する移住法」制定の必要性を訴えた。

また、大震災を契機に東園から京都に移住した方が中心となり立ち上げた「こども検診医療基金・関西」の中村純氏が報告。避難者の多くは継続的に検査を受けるのが困難なため基金を設立し、今後助成を行っていききたいとした。

訂正 第2857号(5月20日発行)4面の「舞鶴医師会と懇談」2段4行目にある「そして一般財団法人化される」という文章は「そして一般財団法人化される」の誤りです。訂正してお詫ひ申し上げます。

訂正 第2857号(5月20日発行)4面の「舞鶴医師会と懇談」2段4行目にある「そして一般財団法人化される」という文章は「そして一般財団法人化される」の誤りです。訂正してお詫ひ申し上げます。

訂正 第2857号(5月20日発行)4面の「舞鶴医師会と懇談」2段4行目にある「そして一般財団法人化される」という文章は「そして一般財団法人化される」の誤りです。訂正してお詫ひ申し上げます。

訂正 第2857号(5月20日発行)4面の「舞鶴医師会と懇談」2段4行目にある「そして一般財団法人化される」という文章は「そして一般財団法人化される」の誤りです。訂正してお詫ひ申し上げます。

訂正 第2857号(5月20日発行)4面の「舞鶴医師会と懇談」2段4行目にある「そして一般財団法人化される」という文章は「そして一般財団法人化される」の誤りです。訂正してお詫ひ申し上げます。

訂正 第2857号(5月20日発行)4面の「舞鶴医師会と懇談」2段4行目にある「そして一般財団法人化される」という文章は「そして一般財団法人化される」の誤りです。訂正してお詫ひ申し上げます。

訂正 第2857号(5月20日発行)4面の「舞鶴医師会と懇談」2段4行目にある「そして一般財団法人化される」という文章は「そして一般財団法人化される」の誤りです。訂正してお詫ひ申し上げます。

後遺 補遺

記 漂萍

谷口 謙 (北丹) — <37>

本

ゲゲゲの女房、NHK午前8時からの連続テレビ小説を毎日見ている。主人公の出身地、境港、松江地方の、だん、だん、言葉がなつかしい。ぼくにどって松江は聖地なのかもしれない。もう今のぼくの体調では行けそうでないが、ドラマの舞台は昭和30年代だが、ぼくがお金がなくて苦しかったのは20年代である。戦後の混乱はまだ激しかった。ドラマで主人公の女性は貧しくても電燈を切られても、明るく日々を過ごしていく。地方の方言が身に迫る。「だん、だん、おおきに」。

父の死んだ日のこと、今でもありありと覚えてい

る。T病院の2階の病室で意識がなくなり、大きな呼吸を繰り返す。次は小さな呼吸に変わる。ぼくは黙って中腰の形で見守るだけだった。母も付き添いのUさんも、浅虫温泉から

が、父の死からぼくの本当の人生が始まった。まだ戦後の混乱のなか、貧に向き合わねばならぬぼくの人生が始まった。涙の出るような有難いご恩情や、弱みにつけこんだ陰惨ないじめ

の書齋の引き出しから出てきた。院長、外科手術医、看護婦長、運転手(当時T病院には乗用車が一台だけあって、運転する人も免許のある人はただ一人だった。その車が院長の命で父を迎えに来てくれたのである)の各人に金百円ずつ渡すように書いてあった。その場にいた善兄が、おかしいなあ、院長も運転手も同額だなんて、と言ったが、ぼくは無視をして父の遺言の通りお金を渡した。なぜかこんな些細なことをありありと覚えている。父が轟然としていた古道真屋があり、某日夜にたまたま帰っていたぼくを訪ねて来た。「坊ちゃん(大きくなっ

も未だ坊ちゃんだった)、横山大観、橋本関雪なんかの画があれしまへんか、旨いこと言って安値で持っていくものがあるかもしれない。用心しなはれ。きつときつと私を呼んで相談してくれなはれ二云々。大観も関雪もなかった。ただいつとき、出口王仁三郎に心酔していたので王仁三郎や、養子の日出磨の書があった。ただ当時では売りの物にならなかった。その後、母はときおりその古道真屋の世話になっていたようだ。

父は蔵書家だった。乱読家と言ってもいいかもしれない。ぼくは帰省する毎に高く売れそうな本を持ち帰り、また運送会社から送ったりした。父の残りの衣服やこの書籍類をよく大丸百貨店に持って行った。委託販売をしてくれた。ぼくの大学からインターンの間はこうして賄ったのだった。数々の人の御世話になったが、その最高の人は安田晴、千代子御夫妻だったと思う。その後ずっと賀状の交換はしていたが、今年はなかった。一度お尋ねせねばと思っているが、現在まで御無沙汰をしている。

父没後、60年を越えたが、今でも持ち続けた父の遺した本がある。『寺田寅彦全集(文学編)』『芥川龍之介全集』『森岡外全集』『大言海』エトセトラ。

訂正 第2857号(5月20日発行)4面の「舞鶴医師会と懇談」2段4行目にある「そして一般財団法人化される」という文章は「そして一般財団法人化される」の誤りです。訂正してお詫ひ申し上げます。